



2024 秋 号

No. 127



～ 特集 ～

【見て・聞いて学ぼう、河川の魅力】

奈良県

大和川水系(奈良県域)に
生息する生物について

京都府

鴨川探検について

堺市

大人も子どもも楽しめる、
大和川水辺の楽校まつり

～トピックス～

大阪府

千里川(豊中市)で
「かわまちづくり計画」が登録

～きんきのダム巡り～

福井県

笹生川ダム

～インフォメーション～

滋賀県

第16回 淡海の川づくりフォーラム
参加団体募集!

ページ

河川紹介

2

みのおがわ

箕面川 (箕面市ほか)

.....

Ⓐ

特集

『見て・聞いて学ぼう、河川の魅力』

3

やまのがわ

大和川水系(奈良県域)に生息・生育する生物について

奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

.....

Ⓑ

5

かものがわ

鴨川探検について

京都府 建設交通部 河川課

.....

Ⓒ

7

やまのがわ みずべ がっこう

大人も子どもも楽しめる、大和川水辺の楽校まつり

堺市 建設局 河川水路課

.....

Ⓓ

トピックス

9

せんりがわ

千里川(豊中市)で「かわまちづくり計画」が登録

大阪府 都市整備部 河川室 河川環境課

.....

Ⓔ

きんきのダム巡り

10

さそうがわ

笹生川ダム(大野市)

福井県 土木部 河川課

.....

Ⓕ

インフォメーション

11

おうみ

第16回 淡海の川づくりフォーラム参加団体募集!

滋賀県 土木交通部 流域政策局

NIPPON防災資産に近畿管内で4件が認定されました!

国土交通省 近畿地方整備局 地域河川課



箕面大滝

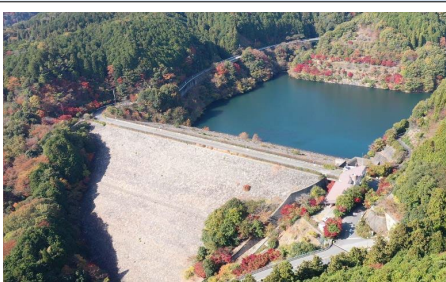
また、大阪府にて箕面川床事業（みのおかわとこじぎょう）として川に張り出した茶店や休憩所といった、再整備等行っております。

箕面川は、大阪府豊能郡豊能町（とよのちよう）高山地区の山地に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川に注ぐ河川。上流部には、箕面川ダムを有し、ダムから流れた水は、表紙の写真のように滝となって下流へ流れています。箕面大滝は、「日本の滝百選」にも選ばれている落差33mの滝であり、流れ落ちる滝の姿が、農具の「箕」（み）に似ていることから箕面大滝と呼ばれるようになりました。

箕面川（みのおかわ）

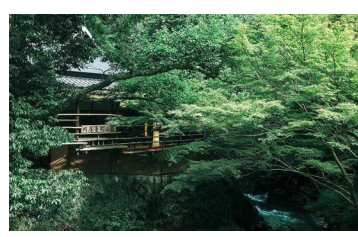


※図中 A ~ G は記事の位置を示しています。



箕面川ダム

箕面川ダムは箕面国定公園内に位置するというこ
とで、自然や景観に特に注意を払いながら昭和47
年に建設を開始し、昭和58年に完成しました。
また、平成5年6月、当ダムにおける自然環境保
全に対する一連の取り組みが評価され、環境庁が後
援する環境賞の優良賞を受賞しました。



梅屋敷



紅葉橋

みのおかわとこじぎょう

箕面川床事業

明治から昭和初期にかけて実在した川に張り出した
茶店や休憩所を復活させるなど、名勝箕面山が本来有
するイメージに沿って再整備し、観光都市「箕面」そ
して「溪流」の景勝地として、河川を活かした地域の
活性を図っている。

やまとがわ

大和川水系(奈良県域)に生息・生育する生物について

奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

○ はじめに

奈良県では、河川整備計画に基づき実施する事業の進捗状況や社会・自然環境への影響を、各流域・圏域ごとに5年に1回のサイクルで点検・評価しています。その中で生物調査を実施しており、さまざまな生物を確認しています。令和5年度の調査(大和川流域・平城圏域)では、15種の魚類と288種の植物、26種の鳥類、40種の底生動物を確認しました。そこで、これまでの調査の結果から、大和川水系(奈良県域)のいきもの図鑑を作成しましたので確認した生物の一部を紹介します。

重要種

いきもの図鑑ホームページ：<https://www.pref.nara.jp/item/302031.htm>

法令等により指定された希少野生動植物種や国および都道府県等のレッドリスト・レッドデータブック等に記載された絶滅のおそれのある野生生物種のことです。



シマヒレヨシノボリ

ヨシノボリ類の中でも止水的な環境を好みます。環境省RLの準絶滅危惧種に指定されています。



ミナミメダカ

近年生息数が減少しています。環境省RLの絶滅危惧Ⅱ種や奈良県RDBの希少種に指定されています。



ゴキツル

日当たりの良い水辺、河畔、溜池畔などに生えるつる性植物です。奈良県RDBの希少種に指定されています。



カワセミ

やや水深のある水域に生息し、潜水して魚類を捕獲します。近畿RDBのランク3に指定されています。

※ RL・・・レッドリスト RDB・・・レッドデータブック

指標種

特定の環境下で生息・生育し、その場所の特徴を表す指標として県で定められた種のことです。



サワガニ

河川の上・中流域に生息し、砂礫や小石の多い環境を好みます。水質汚濁に弱いとされ、良好な河川水質の指標になります。



ミソソバ

洪水などにより見えなくなりますがその後に再生します。湿った泥質の場所を好み、富栄養な水際環境の指標になります。

特定外来生物

「外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもの」(外来生物法)の中から指定された種のことです。



オオクチバス

北米原産で、魚やエビ等を食べることから在来種への影響が心配されています。



ブルーギル

北米原産で在来の魚の卵も食べることから影響が心配されています。



アレチウリ

つるを伸ばしほかの植物を覆うように繁茂し、在来植物へ大きな影響を与えます。



オオキンケイギク

北米原産で、河川敷において河原固有の植物への影響が心配されています。

○ おわりに

大和川の水質は近年改善しており、多くの水辺に生息・生育する生物が戻ってきています。奈良県では、今後も河川整備等を通じて良好な水辺環境の創出に努めます。

かもがわ

鴨川探検！再発見！について

京都府 建設交通部 河川課

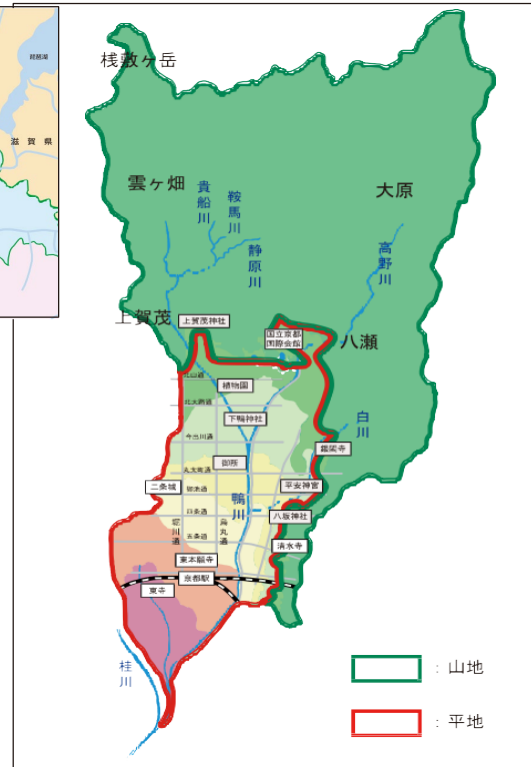
○ 鴨川について

さじきがたけ

鴨川は、棧敷ヶ岳付近を源流とし桂川の合流点に至るまで京都市内の南北を流れる約27kmの一級河川です。悠久の歴史の中で千年の都と京文化を育んできた川であり、今も大都市にあって清澄さを保ち、憩いの場として多くの人に親しまれている河川です。

昔は、暴れ川として恐れられており、たびたび氾濫し、水害に見舞われていました。昭和10年の大洪水で大きな被害を出しましたが、これをきっかけに大規模な改修が行われ、洪水氾濫が起きにくくなりました。

河川改修に際しては、風致を維持し、中心市街地の貴重な水辺空間を活かした整備をしてきました。



鴨川の流域図



↑
鴨川の清流と周囲の山々とが織り成す景色は、まさに山紫水明と呼ぶにふさわしいものとなっています。

暑い夏の日には、川の中で水しぶきをあげて遊ぶ人々の姿なども多く見られます。



↑
澄んだ空と紅葉に染まる秋の鴨川の景色は春の桜に劣らない魅力があります。

冬の鴨川には、カモやユリカモメなど数多くの野鳥たちが訪れます。



○ 鴨川探検について

京都府では、平成16年より、代表的な河川である鴨川において、川への理解を深め、治水や防災、河川愛護や自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げることを目的に観察会をはじめとした小学生向けの学習会を毎年4回開催しています

今回、令和6年7月28日（日）に第71弾を開催しました。鴨川に生息する生きものの観察及び水質調査をテーマに小学生25人保護者等合わせて総勢45名に集まいただきました。

スライドを用いた学習、塗り絵による川の生きものの学習、鴨川に入っての魚や水生昆虫の特徴観察、パックテストを用いた川の水質調査を行い、川について学んでもらいました。

○ 鴨川探検について



▲河川の学びの交流会

川遊びの時の注意事項や生物等についてクイズ形式で勉強し、川への理解を深めることができました。



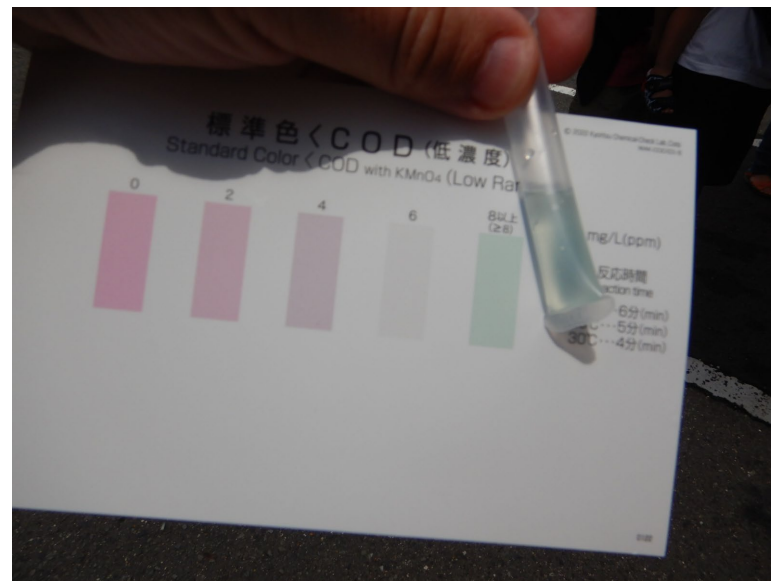
▲ぬりえ

参加した子供たちと塗り絵等のワークを実施しました。塗り絵やクイズを使って魚や水生昆虫の体の構造や環境を学びました。



▲観察会

鴨川に入って生きもの採取。全員で草むらに網を差し込み、隠れた生き物を捕まえました。子どもたちは魚や水生昆虫が捕まえられて大喜びしていました。



▲観察会のまとめ

パックテストを用いて鴨川の水質を測りました。子どもたちは透明な水はきれいと思っていたようで一番悪い値が出たことに驚いていました。

○ おわりに

今回、河川について直接触れ合いながら学習を行う鴨川探検！再発見！について紹介させていただきました。今回の体験を基に子どもたちには、治水や防災、河川愛護や自然環境保全への関心を持ち、河川のことを自ら学ぶきっかけとして頂き、将来、河川の防災、美化、環境保全等の活動を行う人材に成長して頂くことを期待しています。

京都府では、今後もこれまでに整備してきた水辺空間を活かした体験型の学習などに取り組んでまいります。

大人も子どもも楽しめる、

やまとがわ がっこう 大和川水辺の楽校まつり

堺市 建設局 河川水路課

大和川水辺の楽校まつりとは

堺市では、子どもたちが身近で遊ぶことのできる水辺で行政と市民、学校等が一体となって環境学習・体験活動に取り組むことを目的に、「大和川水辺の楽校まつり」を地域と共催で開催しています。

整備された河川敷や公園内を利用して、子どもの水辺協議会及びその参画団体がさまざまなプログラムの企画などを行い、大和川が子ども達の自然環境教育の場となるよう、砂州や水辺での体験学習等を行い、市民にとっても憩いの場となる水辺空間を体験してもらおうイベントです。



がっこう
大和川水辺の楽校まつり 2024
～キレイになった大和川で遊びませんか～
日時：2024年4月28日（日）午前10時～午後3時
場所：大和川公園及び河川敷
(堺市堺区香ヶ丘町5丁 旧浅香山浄水場下流)

◎水辺の楽校教室 内容：魚とり体験、水質調査 対象：小学生と保護者 <事前申し込み必要。詳しくは市ホームページへ>

◎模擬店、パネル展示、音楽演奏、キッズダンス、あし首や丸太切り体験など、盛りだくさんの催しを開催。

※雨天等により「大和川水辺の楽校まつり」を中止する場合は、当日午前8時に市ホームページにてお知らせします。市ホームページはこちらから→

問合せ先：○大和川水辺の楽校協議会事務局 TEL.070-5503-6261

○子どもの水辺協議会事務局 堺市河川水路課 TEL.072-228-7418

共催 「楽しいんやさい大和川」子どもの水辺協議会（国土交通省大和川河川事務所 堺市 堺市教育委員会 大和川水辺の楽校協議会） 浅香山校区自治連合会
※大和川水辺の楽校協議会は国（近畿地方整備局）より河川協力団体の指定を受けています。 ※ご来場は、公共交通機関をご利用ください。



大和川水辺の楽校協議会

～プログラム紹介～ (令和6年度)

○大和川水辺の楽校教室

小学生を対象に、安全講習、水質調査、魚とり体験ができます。

事前申し込み制で、毎年好評頂いており、令和6年度も募集開始から数日で受付終了となりました。

当日は、安全講習に真剣に聞き入ったあと、手づかみや網を使って魚とりに熱中する親子の笑顔が多く見られました。



安全講習の様子



いよいよ魚とりに挑戦！

○出展プログラム

自治会や行政、ボランティアを行っている方などで、楽しみながら学べるプログラムを出展しました。



↑ふれあい動物園がやってきた

大和川のことを勉強したよ→



↑どんな作品ができるかな？



○ステージプログラム

近隣地域の子どもたち、中学・高校生によるダンスなどでステージを大きく盛り上げていただきました。

中でも、ゆるキャラショーは子どもたちに大人気で、ステージ終了後も人が集まってバックステージに戻るのが大変なほどでした。



↑
堺市上下水道局のマスコットキャラクター「すいちちゃん」は大人気

○おわりに

大和川水辺の楽校まつりは、地域の多くのボランティアの方に支えられて実施しているイベントです。

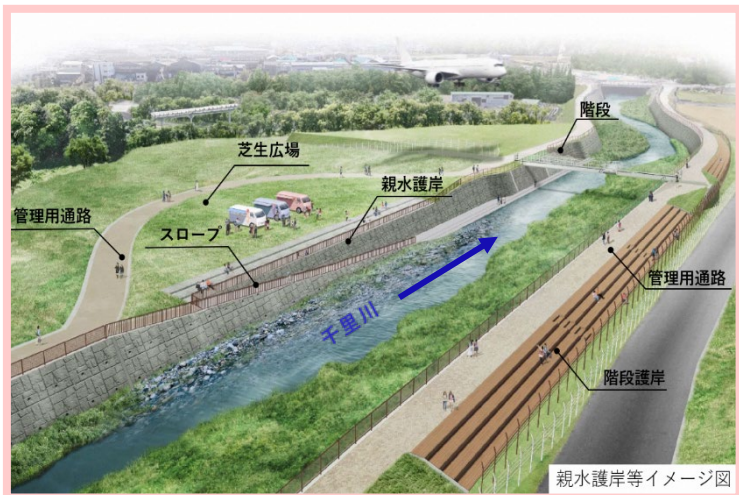
大人も子どもも笑顔になって、川を美しく保つことの大切さを自然に感じてもらえるイベントとして、これからも開催していきたいと考えています。

どてはらだ

○ 千里川土手原田地区かわまちづくり

大阪国際空港に隣接する千里川が、2024年度かわまちづくり支援制度において、「千里川土手原田地区かわまちづくり」として登録されました。「千里川土手」は、これまでも飛行機の着陸が間近で鑑賞、撮影できるスポットとして、多くの人々から親しまれています。

豊中市では、空港を活かしたまちづくりを進めており、その一環として千里川土手と隣接する原田緑地において、飛行機を鑑賞しながらみどりや河川に親しむことができる環境を一体的に整備し、地域の魅力向上やにぎわいの創出を目指しています。大阪府では、千里川の河川区域において、親水護岸や階段護岸を整備するほか、豊中市及び民間事業者が今後実施する整備・運営を支援していきます。



千里川土手原田地区かわまちづくり計画
登録証授与式



○ 登録証伝達式

9月6日に、豊中市役所で登録証伝達式が行われ、近畿地方整備局の常山河川部長（写真左）から豊中市の長内市長（写真右）へ登録証が手渡されました。

常山河川部長は「今後、府市で取り組まれる、かわまちづくり計画に基づく整備については、整備局としても支援していきたい。」と発言され、長内市長は「かわとみどりと空を一体化した整備を実現したい」と表明されました。

きんきのダム巡り

福井県
土木部 河川課



福井県
マスコットキャラクター
はぴりゅう



型式	重力式コンクリートダム
堤高	76.00m
堤頂長	209.80m
堤体積	224,520m ³
集水面積	70.66km ²
総貯水量	58,806,000m ³
有効貯水量	52,243,500m ³

さそうがわ おおのし 笹生川ダム(福井県大野市)

さそうがわ くずりゅうがわ まながわ
 笹生川ダムは、一級河川九頭竜川の支川である真名川の上流に位置し、真名川総合開発事業の一環として総事業費48億6,920万円を投入して昭和32年11月に完成した多目的ダムです。設計が行われた昭和28年当時、最新の技術となる三次元的応力解析法を用いてダム本体の構造設計を行い、安全性を確保しながらもダム堤体積の最小化を実現させた日本初のダムということが評価され、令和2年度選奨土木遺産に認定されています。

また、昭和40年9月の奥越豪雨においてダム放流能力をはるかに超えた洪水量がダム湖に流入し、ダム本体を越流する危険な状態が発生したため、今後このようなことが起こらないように事業費24億円を投入して余水吐きゲートおよび排水トンネル工事を実施しました。(昭和52年10月完成)

毎年7月下旬には、「森と湖に親しむ旬間」に合わせてダムの見学会を実施しています。例年多くの方にご来場いただき、堤体内部の見学を含む充実した内容でご好評をいただいております。



余水吐きゲート



排水トンネル



見学会の様子

ダムの最新情報等を発信中!



第16回 ^{おうみ} 淡海の川づくりフォーラム参加団体募集！

日時 令和6年12月1日（日） 10:00～16:30（終了時刻は予定）
会場 米原市役所市民交流エリア（コンベンションホール）（滋賀県米原市米原1016）

淡海の川づくりフォーラムは、「川やびわ湖、水辺と共生する暮らし」「川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係」を築いていくための参考となる“きらり”と光る活動を公開討論によって探し、その年いちばん輝く活動をみんなで表彰します。

活動の楽しさや苦勞、失敗を乗り越えた時の喜びを川や水辺に関わる仲間たちと共有しましょう！ご応募お待ちしております！

申込方法等、詳しくは下記URL（滋賀県ホームページ）をご覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/338580.html>



滋賀県ホームページ



去年の様子は
ここからチェック→



【問合せ先】第16回 淡海の川づくりフォーラム実行委員会事務局
滋賀県 土木交通部 流域政策局 広域河川政策室内
TEL 077-528-4270 E-Mail ha04@pref.shiga.lg.jp



災害リスクの 「自分事化」 に向けて

NIPPON防災資産に近畿管内で4件が認定されました！

内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを、「NIPPON防災資産」として内閣府特命担当大臣（防災）、国土交通大臣が認定する制度を令和6年5月に新たに創設しました。

優良認定：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
和歌山県土砂災害啓発センター
稲むらの火の館

認定：福知山市治水記念館 ↓ ↓ 詳しくはこちらから→

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>



■編集後記

「さらさ」2024秋号(127号)の編集を務めさせていただき、無事に発刊することが出来ましたのは、ご多忙にもかかわらず記事投稿をしていただきました各府県市の皆様のおかげです。紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

今回、編集担当として大阪府の河川を再度調べてみて、過去に行っていた事業など歴史についても学ぶことができました。今後も「さらさ」を各府県市における情報共有・情報発信の場として、活用していただければと思います。

編集担当：大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課

編集・発刊：三重県 福井県 滋賀県 京都府 京都市 大阪府 大阪市 堺市
兵庫県 神戸市 奈良県 和歌山県 国土交通省近畿地方整備局